

2012年9月20日

日本空港ビルディング株式会社

羽田空港国内線 第2旅客ターミナル 3階 ディスカバリーミュージアム 第9回企画展について

日本空港ビルディング株式会社は、第2旅客ターミナル本館南側3階の国内空港初空港内美術館「ディスカバリーミュージアム」において、10月19日（金）より第9回企画展「名君と博物学」を開催いたします。

バクス・トクガワナ

「徳川の平和」といわれる泰平の世を迎えた江戸中期、文化は成熟し、博物学が大流行しました。大名は動植物の色鮮やかな図鑑を作り博物学を学び、庶民も草花の栽培や小鳥の飼育などを楽しみました。同企画展では、「宝暦の改革」の名君 細川重賢が編纂した珍しい動植物の写生帖や重賢所有の小鳥の籠、木版出版された鯨図鑑、画家森徹山、森一鳳の動物写生画などを展示します。重賢が自然に注いだ熱い眼差しをディスカバリー（発見）してください。

記

1. 次回企画展 「名君と博物学」（入場無料）

2. 期 間 【前期】2012年10月19日（金）～2012年11月18日（日）
【中期】2012年11月21日（水）～2012年12月16日（日）
【後期】2012年12月19日（水）～2013年 1月14日（月・祝）

※前期・中期・後期では、一部の作品の展示替えと頁替えを行います。

※2012年11月19日（月）、20日（火）、12月17日（月）、18日（火）は展示替えのため休館致します

※期間中、毎週水曜日（14:00～、16:00～）にギャラリートークを実施予定

3. ディスカバリーミュージアム概要

(1) 場 所 第2旅客ターミナル3階 南端

(2) 開館時間 平日 11:00～18:30（最終入場18:00）
土日祝祭日 10:00～18:30（最終入場18:00）

(3) 電話番号 03-6428-8735

(4) ホームページ <http://www.discovery-museum.com>

※すべての展示作品は永青文庫の所蔵です。

永青文庫・・・700年の歴史を持つ細川家の至宝を管理し、国宝8点、重要文化財31点をふくむ、およそ6,000点の美術工芸品と50,000点以上にのぼる歴史文書を所蔵している美術館。



以上

【 本件に関するお問い合わせ先 】

日本空港ビルディング株式会社 事業開発・運営本部 施設管理部 広告・イベント課
電話 (03) 5757-8520 (9:00～17:30) ※土日祝日除く

【主要作品】



もうかいまかん
毛介綺煥

肥後熊本藩主・細川重賢（1720-1785）が編纂した魚介類を主とした写生帖。実物大で細部まで描かれたエビ・カニは圧巻。二ホンオオカミの図と情報は絶滅種の貴重な資料となっている



ちんきんきじゅうす
珍禽奇獣図

国内外の珍獣・奇鳥が描かれた貼交画帖。当時、清やオランダから象など多くの動物が長崎にもたらされた。杉田玄白らの『解体新書』も同時期の出版であり、時はまさに蘭学ブームであった。



うすらかご
鶉籠

重賢所有の鶉籠。江戸時代、鳥の飼育は庶民にまで広がり、大名間では鶉・鶉の鳴き声や斑紋を競う遊戯が流行した。これは平安貴族の嗜んだ、小鳥の美しさを競う「小鳥合」の流れを汲む。



あさがおゆりまじり
葵百合雑

園芸種の花の部分だけの写生帖。江戸時代、植物の品種改良技術は世界最高水準に達し、シーボルトは母国ドイツの学会に、日本の園芸がヨーロッパのどの国よりも進んでいると報告した。



しゅうほうす
聚芳図

重賢編纂の草木の写生帖。高松藩主・松平頼恭の図譜から転写された図が多く描かれている。画帖の貸借が長期に渡っていることから、共に博物大名と呼ばれた重賢と頼恭の親密な交流がうかがえる。



さくらさる もみじしかず
桜猿・紅葉鹿図 森徹山筆

肥後細川家の画員・森徹山の日本画。徹山は猿画で有名な森狙仙に学んだ後、晩年の円山応挙の一門に入った。応門十哲の一人と謳われる。写実的な画風が特徴で、猿を飼い、その写生に励んだといわれる。